

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和3年9月1日



# 学校だより

## 9月号

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

## 七つの子

校長 鈴木 彰

昨年の夏休みは8月1日から16日までと、とても短かったので、長期休業は久しぶりのように思います。分散登校というスタートになってしまいましたが、元気に登校してきた子どもたちは、いきいきと過ごした楽しい思い出をたくさん話してくれました。

夏休み前の最終日、朝会で「夏休みに気をつけてほしいこと、楽しんでほしいこと」について話しました。「楽しんでほしいこと」の中の最後の話題は、「家族とのふれあいを楽しんでください」ということでした。いつも以上に家にいる時間が長いので、家族と一緒に時間を大切にしてほしいと思ったのです。

私も、この夏はオリンピック・パラリンピックを見ながら家族と過ごしました。「昔はもっと子どもとの時間を長くとっていたような気がするなあ」と反省もしました。そして、我が子が幼かったとき、夜泣きの子どもに「七つの子」を歌って寝かしつけていたことを思い出しました。

からす なぜなくの からすは山に  
可愛い七つの子があるからよ  
可愛い 可愛いと カラスはなくの  
可愛い 可愛いと なくんだよ  
山の古巣へ 行って 見てごらん  
まるい目をした いい子だよ



「七つの子」って、なんでしょう。 真実は定かではありませんが、これ、七羽の子ではないようです。

この歌は「七羽の雛」のカラスの歌ではなく「七歳の子」を思う歌だろうと言われていました。「ええっ？」と思う方もいるでしょう。

夕日が照らす道、7歳の小さな子を連れた親子3人の姿を思い浮かべてください。この歌は、その親子の会話なのです。「カラスは、なぜなくの？」という子どもの質問に、「山にあなたのようなかわいい七つの子がいるからなんだよ。」と両親が答えたのです。

何気なく歌っている童謡ですが、「7羽の子のため」という“カラスの世界”で歌うのと、「親子の帰り道の会話」で歌うのとでは、ずいぶん感じが変わる気がします。

私には3人の子がいますが、童謡「七つの子」が大好きで、子どもを寝かせるときはいつもこの歌を子守唄にしていました。親子のあたたかい心が届く気がしたのです。

夏休みが終わって学校は始まりましたが、家族とのふれあいは、これからも続けてほしいと願っています。